

## 「東京メトロ副都心線」ついに開通

首都圏最後の地下鉄新線といわれる東京メトロ13号線。JR山手線の内側の明治通りに沿って池袋・新宿・渋谷の三副都心を結び、平成20年6月14日、副都心線として開業致しました。

更に渋谷駅では平成24年度に東急東横線と相互乗り入れする予定で、埼玉県南西部方面から都心を経由し、横浜方面に至る広域的な鉄道ネットワークが完成します。

メインの渋谷駅地下工事では、地下鉄半蔵門線の直下にプラットホームを築くという地上からの開削での施工で、総重量24,500tの半蔵門線軸体を杭で支えながらその直下に駅を構築する（アンダーピニング）工法でした。この近辺の地形は武蔵野台地が分布し渋谷駅を中心に谷地となっており、地下水も非常に多い地質形状であり、難工事となりました。

実績豊富な藤信化建株式会社も防水・止水技術を総結集され、社運をかけて臨まれる中、無事開通の日を迎えることができました。

結果的に「SQS・CVスプレー工法」は新宿3丁目工区及び渋谷駅工区においても1工区から3工区までをご採用頂きました。

一方、弊社BNスタートアップ研修においても現場見学を何度も実施させて頂くなど営業活動面においても大変ご尽力頂きました。（下記に詳細掲載）

平成12年から続いた地下防水工事も無事故無災害で開通を迎えることができ、弊社としても歴史に残るプロジェクトに参画できましたこと、心より感謝申し上げる次第です。

また、この渋谷駅は日本を代表する建築家の安藤忠雄の設計であり、「地宇宙船」（地中の中の宇宙船）と名付けられた広大な卵型の地下空間が駅前明治通り直下に広がり「人間と自然が共生する」をコンセプトに、地下ホームからの吹き抜け構造（写真参照）により外気も行き来するという循環型社会のメッセージを発信しています。

今回のSQS・CVスプレー工法の採用実績も全国へ、またアジアの地下防水市場へ展開されるものと確信しております。

レジテクトグループ 課長 宮田 摂夫



## 地下防水の歴史～SQS（CVスプレー）工法の活躍

地下鉄の歴史を振り返ってみると、大正時代、銀座線開通以来85年間防水工事は戦前・戦後を通じ防水シート系で施工されてきました。

約5～6年前より、各メーカーが地下防水工法を開発し、営業戦線も激しさを増しております。そういう中、副都心線に於いて、SQS（CVスプレー）工法が採用されたきっかけは、当時11号線（半蔵門線）が工事も終りに近づき、押上駅構築中（大林、清水、大成、鹿島）各工区とも防水シートで施工している真最中であった頃、漏水に遭遇され、各工区とも悩んでいる時、最後の鹿島建設株式会社4工区に於いて、SQS（CVスプレー）工法にて頂部1,260m<sup>2</sup>の試験施工のチャンスに恵まれました。東京メトロ様工務部より、約30名立会のもと注目される中、施工が行われ後日埋め戻しも完了し、漏水は全く発生しない事が確認され、今回の副都心線に採用されるきっかけになりました。

平成12年工事着手以来8年間で超突貫工事の中、無事開通を迎えた者はもとより、元請からも高い評価を頂きました。

藤信化建株式会社 代表取締役社長 吉田 信一



鹿島建設株式会社小川純氏所長より  
藤信化建株式会社へ表彰状が授与されました

【工事概要】					
新宿3丁目工区	佐藤・浅沼JV	約4,200m <sup>2</sup>			
渋谷1工区	東急・東鉄JV	約7,200m <sup>2</sup>			
渋谷2工区	鹿島・アイサワ・三菱JV	約11,800m <sup>2</sup>			
渋谷3工区	東急建設	約5,860m <sup>2</sup>			
施工会社	藤信化建株式会社				

## BN加盟企業紹介

### 株式会社スバル

1980年（創業1966年）に株式会社スバルとして設立をしました。業界に先駆けて1984年より超速硬化ウレタンスプレーマシンを導入してから現在までに6000件以上の実績があり、他社にはない蓄積したノウハウと経験が当社にはあります。

超速硬化ウレタンスプレーマシンを導入後は、ウレタンメーカー、関係各社と技術交流をしながら常に新技術、新市場の開発を心がけウレタンスプレー分野のパイオニアとして今日に至っており、マンション・ビルの屋上防水、工場タンク防食、処理場防食、水路改修、地下防水等の多岐にわたる分野で構造物の保護・防水を行なっております。その技術開発の原点は『現場作業』であり、それが弊社の基本理念です。

また1987年から始めた内装工事は置床、フローリングに特化され現在5万m<sup>2</sup>以上／年を施工しています。その内装『現場作業』からイタリアが生んだ無垢のフローリング材《リストネ・ジョルダーノ》にめぐり合いました。V溝が無いこのフローリングの意匠性の高さはイタリアから世界に発信している高級ブランド店にも採用されています。

現在では、総勢20名で業務を行なっており、レジテクト事業部BN会員の皆様と共に構造物の延命化に向けたコンクリート保護・防水に邁進していき、社会資本に貢献していきたいと思っております。

今後もよろしくお付き合いの程お願い申し上げます。

専務取締役 中村 茂

#### 【会社概要】

本社 東京都西東京市  
資本金 3,000万円  
創業 昭和41年  
事業内容 防水工事、塗装工事、内装仕上げ工事、建築工事



西東京市の本社



スプレー吹き付けの様子

## 「建設物価」に掲載されました

建設物価（財団法人建設物価調査会）2008年7月号より以下の工法が掲載されています。

### SQSシステム工法（レジテクトCVスプレー工法）

土木防水工					
種別・規格仕様	施工規模		単位	公表価格	備考
■ため池・一般用					
SQSシステム工法 (レジテクトCVスプレー工法)	構造物地下防水 厚2.0 (mm)	頂部、底部、頂部保護モルタル不要	500 m <sup>2</sup>	*7,500	ダイフレックス
" "	" 2.0	側部 防水後施工 保護材不要	" "	*8,500	"
" "	" 2.0	底部	" "	*8,500	"
" "	水路改修	側部 防水先施工	" "	*9,800	"
" "	" 2.0	防水ライニング 表面被覆工のみ	" "	*8,850	"

単価欄の\*印は、直接工事費のみである。

### レジテクトBT-JW工法

P. 768 上水道コンクリート防食

上水道・コンクリート防食工					
種別・規格仕様	施工規模		単位	公表価格	備考
■日本水道協会標準仕様	レジテクトBT-JW工法	JWWA K 143 (2004) 適合	300 m <sup>2</sup>	9,970	ダイフレックス



### ボリテックA～D工法

#### レジテクトBT工法

P. 769 下水道コンクリート防食

下水道・コンクリート防食工(3)					
種別・規格仕様	施工規模		単位	公表価格	備考
■日本下水道事業団標準仕様	ボリテックA工法	A種 厚2.0 (mm)	300 m <sup>2</sup>	7,400	ダイフレックス
" "	B工法	B種 0.35	" "	8,700	"
" "	C工法	C種 0.7	" "	13,200	"
" "	D工法	D1種 1.3	" "	18,100	"
レジテクトBT-C工法	C種	1.8	" "	13,700	"
" "	BT-D工法	D1種 2.7	" "	18,600	"

レジテクトグループ  
課長 堀江 一志